

今日のトピック **メキシコ中銀は0.5%の利上げを継続 インフレ高止まりを警戒、米FRBと対応分かれる**

ポイント1 政策金利は11.0%に

- メキシコ銀行（中央銀行、中銀）は2月9日に金融政策決定会合を開き、政策金利を10.5%から11.0%に引き上げました。
- これまで中銀は米連邦準備制度理事会（FRB）に追随して利上げを続けるとともに、利上げ幅を調整してきました。しかし、今回はFRBが引き締めペースを0.25%に減速させたにもかかわらず、0.5%の利上げペースを維持しました。

ポイント2 背景にインフレの高止まり

- メキシコの今年1月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比+7.91%となり、前月の+7.82%から小幅ながら上昇しました。インフレ高止まりの主因は同指標の約4分の3を占める、食品やエネルギーを除いたコアCPIの高止まりで、同+8.45%と前月の+8.35%から同じく小幅上昇しました。
- メキシコのCPIは昨年9月をピークに減速していますが、米国や他の中南米諸国との比較で高止まりしています。今回の中銀の政策決定は、こうしたインフレの粘着性への警戒感の表れといえそうです。

今後の展開

米国とのインフレや 金融政策の乖離からペソは強含みへ

- 米国での早期の利上げ終了を見越して、米ドルは対主要通貨で軟調な展開となっています。このためメキシコペソも、対ドルで堅調な推移が続いてきました。加えて、今回のように、インフレの高止まりを受けた米国を上回るペースでの金融引き締めが続いた場合、金利上昇を好感したペソへの資金流入が続く可能性があります。弊社ではこれまで、1米ドル = 20ペソを中心とした推移を予想していましたが、今後は新型コロナ流行前の19ペソを中心としたレンジに戻るとともに、ペソ強含みの展開となるものと予想しています。

ここも チェック!

2022年12月16日 **メキシコ中銀も0.5%に利上げペースを減速**
2022年11月14日 **メキシコ中銀は0.75%の利上げ継続、政策金利は10%に**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

